学校番号	115

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報（2年）	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版　高等学校　社会と情報　（数研出版）						
副教材等	基礎から始める情報リテラシー　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は、実技（実習・課題作成）と座学（教科書内容）を行います。毎時間、教科書等を忘れずに持ってくるようにしてください。
・実技については、限られた時間内で一定の課題があります。共通の説明をしっかりと聞き、自ら積極的に課題に取り組んでください。
・実技も座学もひとつひとつの積み重ねであるので、欠席が多いと限られた時間内で行うことが難しくなるため、授業に出席して取り組んでください。

2　学習の到達目標

・課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力。
・情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善したりするための基礎的な理論や方法の理解
・社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	・授業態度 ・プリント ・小テスト ・課題作品 ・相互評価	・プリント ・小テスト ・課題作品 ・相互評価	・プリント ・小テスト ・課題作品 ・タイピング ・相互評価	・プリント ・小テスト ・課題作品 ・相互評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ディジタル情報と情報の活用	・情報のディジタル表現 ディジタル情報の表現 数のディジタル表現 文字のディジタル表現 音のディジタル表現 画像のディジタル表現 動画のディジタル表現 データの圧縮	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a:ディジタル情報がどのように表されるかについて関心をもち、積極的に活用しようとしている。 b: 2進数と10進数の変換の方法や数や文字などディジタル化する方法について考え、その結果を適切に表現している。 c: 2進数と10進数の変換やデータの圧縮・展開したりとファイル形式の変換をしたりすることができる。 d: ディジタル表現について理解している。	授業態度 プリント 小テスト
		・表計算ソフトの基礎	○	○	○	○	a:積極的に演習課題を行っている。 b:課題に応じて利用するグラフを適切に選択できるか。 c: 表計算ソフトへのデータの入力と抽出ができ，関数を利用できるか。 d: 表計算の基本的な関数を理解している。	授業態度 プリント 課題作成 小テスト
2学期	情報通信ネットワーク	・コミュニケーション手段の発達 通信とその発展 マスココミュニケーションの進展 ・インターネットのしくみ コンピュータネットワーク 情報の伝達手段と表現形式 パケット通信 通信の信頼性 IP アドレスとドメイン名 WWW のしくみと URL 電子メールの送受信のしくみ	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: コンピュータによる通信や歴史に関心をもち，積極的に活用しようとしている。 b: インターネットのプロトコルやルータによる経路制御、パリティ検査による誤り検出などについて考えている。 c:インターネットの仕組みについて説明や表現することができる。 d: インターネットの仕組みについて、電子メールの送受信のしくみについて理解している。	授業態度 プリント 小テスト
		・表計算ソフトの応用 ・アルゴリズム ・モデル化とシミュレーション	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: 興味を持ち体験的な学習や演習問題を積極的に取り組んでいる。 b:作成したフローチャート（または文章表現）が正しいかどうか確かめることができる c:条件の数式化を適切に行えるか。 d:表計算ソフトのグラフや関数など活用できる知識がある。	授業態度 プリント 課題作成 小テスト

3学期	望ましい情報社会の構築	・問題解決 問題解決のプロセス データの分析	○	○ ○	○	○ ○	a: 問題解決やその方法について関心をもち，主体的に問題の解決を図ろうとしている。 b: 問題解決のプロセスについて考え，その結果を適切に表現している。 c: 問題解決を行うために，情報機器を効果的に活用することができる。 d: 問題解決を行うためのプロセスを理解している。	授業態度 プリント 小テスト
		・プログラミング	○	○	○	○	a:プログラミングに関心を持っており、演習問題に取り組んでいる。 b: 適切な探索法やプログラムを判断している。 c:目的に応じて、プログラミングを行うことができ、表現することができる。 d: 問題解決に向けて、プログラミングする知識を持っている。	授業態度 プリント 課題作成 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。